

## 牛肉中の合成抗菌剤及び内寄生虫用剤検査

平成19年6月に食品専門監視班が収去した、市内に流通する輸入牛肉の筋肉10件について、動物用医薬品として使用される合成抗菌剤28項目の検査を行いました。また、この牛肉の脂肪10件について、内寄生虫<sup>1)</sup>用剤3項目の検査を行いました。その結果、いずれの項目も不検出でした。

検査項目	検査件数	検出値 (ppm)	検出限界 (ppm)	基準値(ppm)
<b>牛肉(筋肉)【合成抗菌剤】</b>				
エンロフロキサシン(シプロフロキサシンを含む)	10	すべて不検出	0.005	0.05
オキシリニック酸	10	すべて不検出	0.01	1
オフロキサシン	10	すべて不検出	0.01	検出されないこと
オルビフロキサシン	10	すべて不検出	0.01	0.02
オルメトプリム	10	すべて不検出	0.02	0.02
クロピドール	10	すべて不検出	0.01	0.2
サラフロキサシン	10	すべて不検出	0.01	検出されないこと
ジフロキサシン	10	すべて不検出	0.01	0.4
スルファキノキサリン	10	すべて不検出	0.01	0.1
スルファジアジン	10	すべて不検出	0.01	0.1
スルファジミジン	10	すべて不検出	0.01	0.10
スルファジメトキシ	10	すべて不検出	0.01	0.05
スルファドキシ	10	すべて不検出	0.01	0.1
スルファピリジン	10	すべて不検出	0.01	0.1
スルファメキサゾール	10	すべて不検出	0.01	検出されないこと
スルファメキシピリダジン	10	すべて不検出	0.01	検出されないこと
スルファメラジン	10	すべて不検出	0.01	0.1
スルファモノメキシ	10	すべて不検出	0.01	0.01
ダノフロキサシン	10	すべて不検出	0.01	0.20
チアンフェニコール	10	すべて不検出	0.01	0.02
トリメトプリム	10	すべて不検出	0.02	0.05
ナリジクス酸	10	すべて不検出	0.01	0.03
ノルフロキサシン	10	すべて不検出	0.01	検出されないこと
ピリメタミン	10	すべて不検出	0.02	検出されないこと
ピロミド酸	10	すべて不検出	0.01	検出されないこと
フルメキン	10	すべて不検出	0.01	0.5
フロルフェニコール	10	すべて不検出	0.01	0.2
マルボフロキサシン	10	すべて不検出	0.01	0.2
<b>牛肉(脂肪)【内寄生虫用剤】</b>				
イベルメクチン <sup>*)</sup>	10	すべて不検出	0.005	0.040
エプリノメクチン	10	すべて不検出	0.005	0.25
モキシデクチン	10	すべて不検出	0.005	0.50

<sup>\*)</sup> イベルメクチンについて

イベルメクチン(以下、IVMと略す)は、北里研究所で開発された化合物で、動物向け駆虫薬として、あるいは人間向けの駆虫薬(糞線虫症)及び疥癬の薬(ストロメクトール錠)として世界中で使われています。また、IVMはWHOが中心となり行っているアフリカや中南米のオンコセルカ症患者の治療及び感染防止の特効薬として、劇的な効果を挙げています。さらに、IVMは世界で推定患者1億2千万人と言われるリンパ系系状虫症にも有効であります。

<sup>1)</sup> 家畜の寄生虫はその寄生部位が体内であるか体外であるかによって内寄生虫と外寄生虫に分類されます。

【微量汚染物室：残留動物用医薬品担当】